

社会体育に関する研究

その2 - ママさんバレーの実態 -

南 貞己・末永政治・奥保宏
西種子田弘芳・徳田修司・長岡良治
飯干明・末吉靖宏・福満博隆

Study on Community Physical Education

(Report 2)-Inveatigation of Mamasan Volleyboll-

MINAMI Sadami, SUENAGA Masaharu, OKU Yasuhiro,
NISHITANEDA Hiroyoshi, TOKUDA Syuji, NAGAOKA Ryoji,
IBOSHI Akira, SUEYOSHI Yasuhiro and FUKUMITU Hirotaka

目 的

高度成長に伴う機械化（自動化）の進行が人間の活動を減少させている。こうした時代の流れの中で近年「社会体育」ということが、クローズアップされている。ところが社会体育に関する調査はあるが、どのように実施していけばよいかという研究は少ない。

本研究はどのような施策をすれば県民に社会体育が定着するのか、その手掛かりを目的にしている。今回は、県内の社会体育を実践している人々の実態を調査した。今回は県内の家庭婦人で体育協会に登録数の一番多い、ママさんバレーボールの実態を調査した。

調査方法

- (一) 調査方法：質問紙調査法
- (二) 調査期日：平成12年8月15日～9月15日
- (三) 調査対象：鹿児島県家庭婦人バレーボール連盟に登録している全員（294チーム，4742人）。チーム代表者に登録人員プラス2枚の質問紙を，返信用封筒とともに郵送した。
- (四) 調査内容：ママさんバレーボールの実態を調査するとともに，宮田等が，1972年（28年前）に実施した調査との比較も考えたので別表に示したとおり，宮田等の質問項目を用いた。

附表 1

ママさんバレーに関するアンケート

このアンケートはママさんバレーに関する実態を調査するとともに、ママさんバレーについての研究に資するためにお願ひするものです。どうぞありのままにお答えいただくようお願いいたします。

鹿児島大学 南 貞己

(基本事項)

住所 (郡市名)	
年齢 (調査日現在)	1. 20~24才 2. 25~29才 3. 30~34才 4. 35~39才 5. 40~44才 6. 45~49才 7. 50~54才 8. 55~59才 9. 60~64才 10. 65才以上
職業	1. 農・林・漁業 2. 労務 3. 販売・サービス 4. 事務・保安 5. 主婦 6. 専門・管理 7. その他
子どもさんの数	1. なし 2. 一人 3. 二人 4. 三人以上
運動歴 (クラブや同好会に入つて一年以上経験した種目を記入)	中学校 高校 大学 卒業後

☆ 上の表の基本事項及び以下の質問についての解答は、ご記入または該当項目の番号を○でかこんでください。

- ◆第1問 あなたの現在の生活には、運動が必要だと思いますか。
1. なくてはならぬものである。 2. 必要だと思う。 3. 必要だと思わない。
4. わからない。
- ◆第2問 あなたの運動やスポーツに対する欲求はどうか。
1. 見るのも好き。 2. どちらかというが見るのが好き。
3. 自分でするのが好き。
- ◆第3問 あなたはなぜママさんバレーを始めたのですか。いまふりかえってみて一番強く感じていた初期の理由を一つだけ教えてください。
1. 体を丈夫にするため。(健康の維持増進) 2. 気晴らしのため。(ストレス解消のため) 3. バレーボールそのものを楽しみたかった。 4. バレーボールの試合に出てみたかった。 5. 生活に変化を求めたかった。 6. 何らかの運動をやりたかった。 7. 他人からの誘いを受けてなんとなくやり出した。
8. その他 ()
- ◆第4問 ママさんバレーを始めてからどれぐらになりますか。
1. 1年未満 2. 2年未満 3. 3年未満 4. 4年未満 5. 5年未満
6. 5年以上 7. 10年以上 8. 20年以上 9. 30年以上
- ◆第5問 試合におけるあなたのポジションはどこですか。
1. 前衛左 2. 前衛中 3. 前衛右 4. 中衛左 5. 中衛中 6. 中衛右
7. 後衛左 8. 後衛中 9. 後衛右 10. 定ポジションではない。
- ◆第6問 あなたの今のポジションに満足していますか。
1. 満足している。 2. 不満足である。 3. どちらともいえない。
- ◆第7問 あなたが一番やりたいと思うポジションはどこですか。
1. 前衛左 2. 前衛中 3. 前衛右 4. 中衛左 5. 中衛中 6. 中衛右
7. 後衛左 8. 後衛中 9. 後衛右

附表 1

- ◆第8問 あなたの今までのママさんバレーの経験を通じて効果的である(あった)と思うことがありますか。あったらいくつでも選んでください。
1. 体力に自信がいった。
 2. 健康になった。
 3. 美容上によい。
 4. ストレスの解消によい。
 5. 「バレーボールの経験」そのこと自体が有意義である。
 6. 生活にリズムが出て来た。
 7. 睡眠がよくできるようになった。
 8. 友達ができた。
 9. 食事がおしくなった。
 10. その他 ()
- ◆第9問 バレーボールをやっているが故にまずい(まずかった)と思う(思った)ことがありますか。1. ない。2. ある。(その内容 a. 傷害に関して b. 病気にに関して c. 過労に関して d. メンバーとの人間関係に関して e. 監督やコーチとの人間関係に関して f. バレーを離れた日常の交際に関して g. 子どもとの関係について h. 夫婦間の事について i. 仕事のことに関して) j. その他 ()
- ◆第10問 ママさんバレーの活動中、「けが」などされたことがありますか。
1. ある。(内容:)
 2. ない。
- ◆第11問 あなたの現在のチームに対する期待は何ですか。(一つだけ選んでください。)
1. 対外試合を多くやりたい。
 2. 対外試合を多くやりたいし、また勝ちたい。
 3. 試合に出るよりもとにかく楽しくやりたい。
 4. バレーボールを通じて人間的なつながりを持ちたい。
- ◆第12問 あなたがバレーに参加していることに対して、ご主人(または家族)はよく理解してくれますか。
1. 十分理解してくれる。
 2. まあまあ理解してくれる。
 3. 時々不満をもちます。
 4. どちらかという不満の方である。
- ◆第13問 チームのメンバーと監督(コーチ)との関係はうまく行っていると思いますか。
1. 非常にうまくいっている。
 2. まあまあうまくいっている。
 3. あまりうまくいっていない。
 4. わからない。
- ◆第14問 あなたのチームの人間関係(心のつながり)はうまくいっていると思いますか。
1. 非常にうまくいっている。
 2. まあまあうまくいっている。
 3. あまりうまくいっていない。
 4. わからない。
- ◆第15問 対外試合をやりたいですか。
1. 是非やりたい。
 2. できたらやりたい。
 3. やってもやらなくてもどちらでもよい。
 4. やりたくない。
- ◆第16問 ママさんバレーの一番大きな大会は全国大会ですが、この大会に出てみたいと思いますか。
1. 是非出てみたい。
 2. できたら出てみたい。
 3. 別に出なくてもよい。
 4. すでに出場している。
- ◆第17問 現在のあなたのチームの活動に満足していますか。
1. 非常に充実していて満足している。
 2. ある程度充実していて満足している。
 3. あまり充実しておらず不満足である。
- ◆第18問 あなたの、日頃の練習への出席率はどうですか。
1. ほとんど出席する。(8割以上の出席)
 2. 時々欠席する。(6割以上～8割未満の出席)
 3. 欠席も多い。(6割未満の出席)
- ◆第19問 ママさんバレーは、これからずっと続けたいと思いますか。
1. 思う。
 2. 思わない。
 3. わからない。
- ◆第20問 あなたはバレーボール以外のスポーツ活動への参加を望みますか。(現在、実際に他の活動に参加している人は1番に○印をつけてください。)
1. 望む。
 2. 望まない。
 3. 今のところ考えていない。

ありがとうございました。この結果は地区の理事長さんに報告いたします。

結果と考察

考察に当たっては、返送されてきた調査用紙1960枚（回収率41.3パーセント）を、表1に示すように、年齢別に分類し、年齢による違いを考察した。一番多いのは40～44才で、次いで35～39才である。運動歴は、「バレーボール部」が62.2パーセントで、中学、高校、大学での「バレーボール部」経験者が多いようである。年齢が若いほど「バレーボール部」経験者が多い。なお、宮田等との比較は、違いの見られた項目だけを記述した。

表1 調査人員

1、20～24才	16
2、25～29才	145
3、30～34才	289
4、35～39才	482
5、40～44才	501
6、45～49才	294
7、50～54才	126
8、55～59才	54
9、60～64才	42
10、65才以上	11
計	1,960

表2 運動歴

年齢	項目 バレーボール部	その他の 種目
1、20～24才	12(75.0)	3(18.8)
2、25～29才	104(71.7)	25(17.2)
3、30～34才	198(68.5)	68(23.5)
4、35～39才	287(59.5)	142(29.5)
5、40～44才	295(58.8)	160(31.9)
6、45～49才	162(58.1)	71(24.1)
7、50～54才	55(43.7)	42(33.3)
8、55～59才	24(44.4)	6(11.1)
9、60～64才	23(54.8)	9(21.4)
10、65才以上	5(45.5)	1(9.0)
計	1220(62.2)	527(26.9)

◎ 運動の必要性について (表3参照)

表3 運動の必要性

年齢	項目 なくてはならぬ	必要だと 思う	必要と 思わない	わから ない
1、20～24才	5(2.13)	11(68.8)	0	0
2、25～29才	38(26.2)	106(73.1)	0	1(0.7)
3、30～34才	72(25.0)	217(75.1)	1(0.3)	0
4、35～39才	118(24.5)	360(74.7)	0	2(0.4)
5、40～44才	106(21.2)	379(75.6)	2(0.4)	5(1.0)
6、45～49才	71(24.1)	220(74.8)	0	0
7、50～54才	34(27.0)	92(73.0)	0	0
8、55～59才	14(26.0)	47(87.3)	0	0
9、60～64才	14(33.3)	26(61.9)	1(2.4)	0
10、65才以上	3(27.3)	8(72.7)	0	0
計	474(24.2)	1466(74.8)	4(0.2)	8(0.4)

「必要だと思う。」が約75パーセント、「なくてはならぬものである。」が24パーセントで「必要と思う」が多い。年齢差はないようである。

◎ 運動やスポーツに対する欲求 (表4参照)

表4 運動やスポーツに対する欲求

年齢 \ 項目	見るもする 好き	見るのが 好き	自分です るのが好き
1、20~24才	11(68.8)	1(6.3)	4(25.0)
2、25~29才	92(63.4)	5(3.4)	46(31.7)
3、30~34才	204(70.6)	11(3.8)	70(24.2)
4、35~39才	377(78.2)	8(1.7)	97(20.1)
5、40~44才	382(76.2)	11(2.2)	98(19.6)
6、45~49才	233(79.3)	6(2.0)	45(15.3)
7、50~54才	93(73.8)	4(3.2)	28(22.2)
8、55~59才	45(83.3)	0	9(16.7)
9、60~64才	36(85.7)	1(0.4)	5(11.9)
10、65才以上	7(63.6)	0	4(36.4)
計	1400(75.5)	47(2.4)	406(20.7)

一番多いのは、「見るのもするの好き。」で、次いで「自分でするのが好き。」である。「どちらか」というと見るのが好き。」は、少ない。54才までにやや「どちらか」というと見るのが好き。」は、多くみられるようである。

◎ ママさんバレーを始めた理由 (表5, 図1参照)

表5 ママさんバレーを始めた理由

年齢 \ 項目	体を丈夫に するため	気晴らし のため	楽しみ たかった	試合に 出たかった	生活に変化 を求めた	何か運動を したかった	他人からの 誘いで	その他
1、20~24才	7(43.8)	1(6.3)	6(37.5)	1(6.3)	0	1(6.3)	2(12.5)	1(6.3)
2、25~29才	18(12.4)	24(16.6)	69(47.6)	2(1.4)	2(1.4)	9(6.2)	12(8.3)	3(2.1)
3、30~34才	35(12.1)	60(20.8)	115(39.8)	2(0.7)	6(2.1)	29(10.0)	35(12.1)	3(1.0)
4、35~39才	55(11.4)	100(20.7)	185(38.4)	7(1.5)	13(2.7)	44(9.1)	61(12.7)	13(2.7)
5、40~44才	69(13.8)	76(15.2)	201(40.1)	8(1.6)	8(1.6)	52(10.4)	69(13.8)	8(1.6)
6、45~49才	34(11.6)	44(15.0)	98(33.3)	5(1.7)	11(3.7)	24(8.2)	60(20.4)	9(3.1)
7、50~54才	21(16.7)	14(11.1)	50(39.7)	1(0.8)	4(3.2)	8(6.3)	27(21.4)	4(3.2)
8、55~59才	10(18.5)	6(11.1)	21(38.9)	0	1(1.9)	8(14.8)	6(11.1)	0
9、60~64才	12(28.6)	2(4.8)	22(52.4)	0	1(2.4)	3(7.1)	1(2.4)	2(4.8)
10、65才以上	3(27.3)	0	6(54.5)	0	0	1(9.1)	0	0
計	264(13.5)	326(16.6)	773(39.4)	26(1.3)	46(2.3)	179(9.1)	273(13.9)	43(0.2)

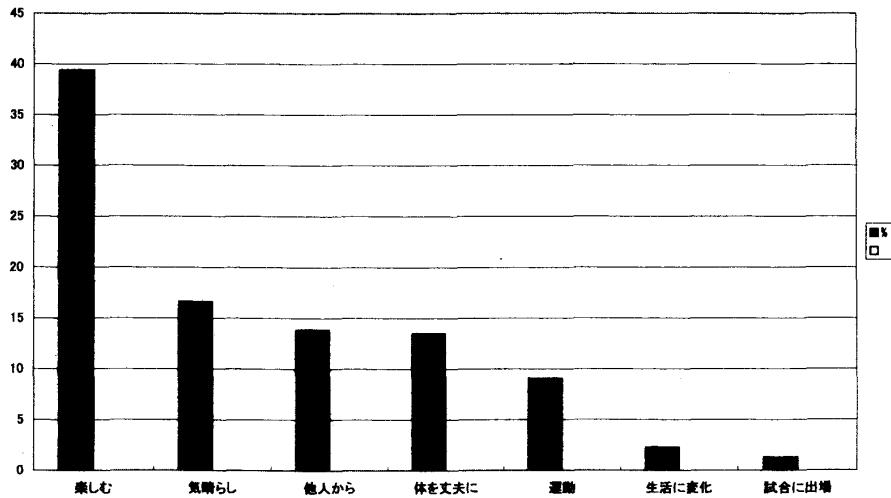


図1 ママさんバレーを始めた理由

一番多かったのは、「バレーボールそのものを楽しみたかった。」で約40パーセントである。次いで、「気晴らしのため。(ストレス解消のため)」、「他人からの誘いを受けてなんとなくやりだした。」、「体を丈夫にするため。(健康の維持増進)」が同じ約15パーセントである。このことに年齢差は見られなかった。「バレーボールの試合に出てみたかった。」は、20～24才で6パーセントを示しているが、全体では1パーセントであった。自由記述に「幼稚園バレーがきっかけ」というのがあった。

宮田等の結果は、「バレーボールそのものを楽しみたかった。」が一番多く同じであるが、「体を丈夫にするため。(健康の維持増進)」、「何らかの運動をやりたかった。」が上位にある。「気晴らしのため。(ストレス解消のため)」は今回より少ない。

◎ ママさんバレーの経験年数 (表6, 図2参照)

表6 経験年数

1、1年未満	159(8.1)
2、2年未満	164(8.4)
3、3年未満	160(8.2)
4、4年未満	121(6.2)
5、5年未満	136(6.9)
6、5年以上	271(13.8)
7、10年以上	552(28.2)
8、20年以上	249(12.7)
9、30年以上	52(2.7)
無回答	107(5.5)

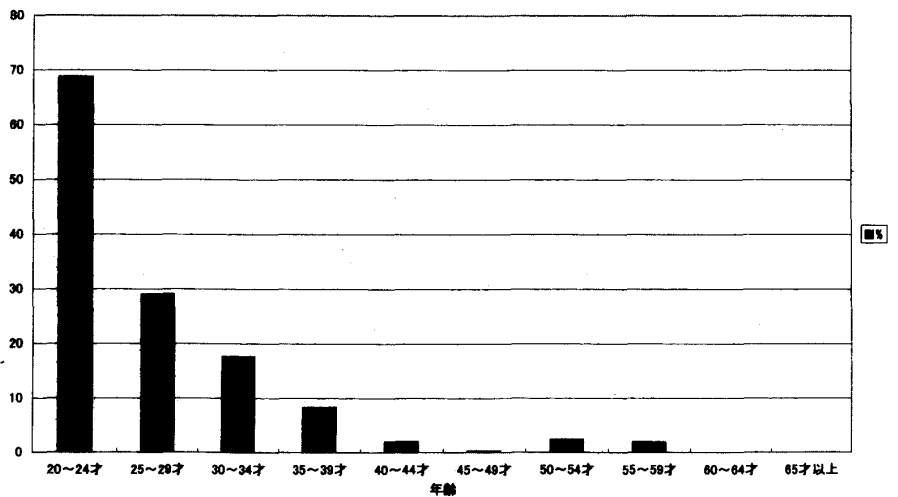


図2 一年未満の内訳

一番多いのが、「10年以上」、次いで「5年以上」、「20年以上」である。「5年以上」から「30年以上」までで約60パーセントであることから、長く続いている人が多いといえるようである。1年未満の経験者を年代別に見てみると、「20～24才台」が一番多く、年代とともに減り「40～44才」で急減している。このことは40才を過ぎてからママさんバレーボールを始める人は少ないといえるであろう。

◎ 現在のポジションと希望のポジション (表7, 図3参照)

表7 現在のポジションと希望のポジション

事項 位置	現在の ポジション	希望の ポジション
前衛左	195(9.9)	273(12.1)
前衛中	171(8.7)	197(10.1)
前衛右	167(8.5)	128(6.5)
中衛左	145(7.4)	151(7.7)
中衛中	164(8.4)	155(7.9)
中衛右	147(7.5)	112(5.7)
後衛左	178(9.1)	167(8.5)
後衛中	164(8.4)	320(16.3)
後衛右	185(9.4)	163(8.3)
定位置無	377(19.2)	

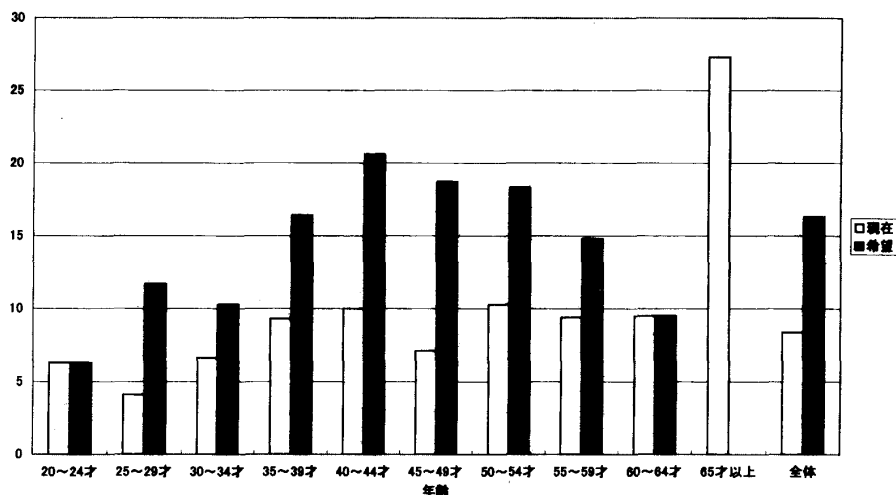


図3 後衛中の現在と希望

現在のポジションでは「定ポジションではない」、希望のポジションでは「後衛中（バックセンター）」が一番多い。「後衛中（バックセンター）」希望を年代別に見ると、「60～64才」までどの年齢にも希望がみられる。「後衛中（バックセンター）」希望だけを、現在のポジションと希望のポジションとの比較からみると、「25～29才」から「55～59才」まで増えている。特に「40～44才」が顕著である。ママさんバレーでは、人気のポジションは、「後衛中（バックセンター）」と言えるようである。

◎ 現在のポジションに対する満足度 (表8, 図4参照)

表8 現在のポジションに対する満足度

項目 年齢	満足 している	不満 足である	どちらとも いえない
1、20~24才	8(50.0)	1(6.3)	7(43.7)
2、25~29才	90(62.1)	8(5.5)	48(33.1)
3、30~34才	164(56.7)	4(1.4)	121(41.9)
4、35~39才	268(55.6)	20(4.1)	191(39.6)
5、40~44才	277(55.3)	22(4.4)	193(38.5)
6、45~49才	194(66.0)	7(2.4)	93(31.6)
7、50~54才	80(63.5)	5(4.0)	40(31.7)
8、55~59才	40(74.1)	2(3.7)	12(22.2)
9、60~64才	31(73.8)	3(7.1)	8(19.0)
10、65才以上	9(81.8)	0	2(18.2)
計	1161(59.2)	72(3.7)	715(36.5)

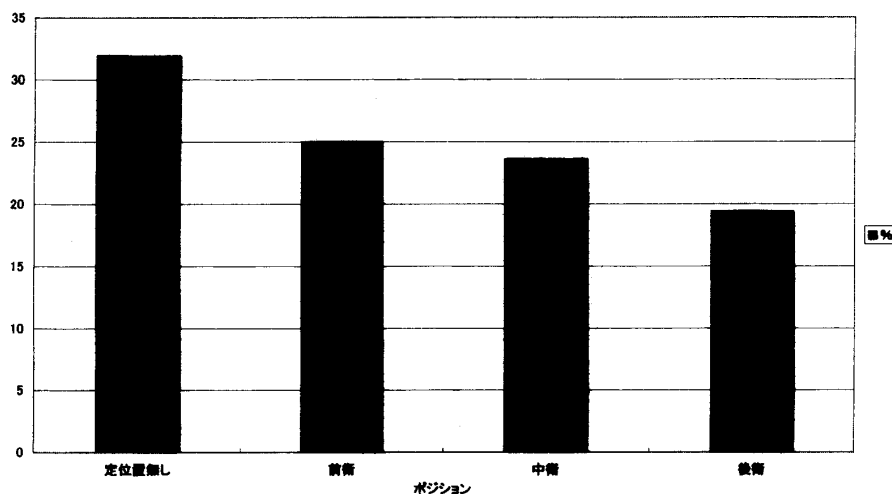


図4 不満足の内訳

「満足している。」と答えたのが約60パーセント, 「不満足である。」と「どちらともいえない。」が約40パーセントである。「どちらともいえない。」は全年代にでている。「不満足である。」をポジション別にみると, 「定ポジションではない」が一番多く, 「前衛」, 「中衛」, 「後衛」の順である。

宮田等の結果は, 不満足の理由は, 「定ポジションではない」と, 「right側のpositionであること」をあげているが, 「right側のpositionであること」は今回みられなかった。

◎ ママさんバレー活動による効果（表9、図5参照）

表9 ママさんバレー活動を通じての効果（重複回答）

項目 年齢	体力に自信 がいった	健康に なった	美容上に よい	ストレスの 解消によい	経験自体が 有意義である	生活にリズム が出た	睡眠がよく できる	友達が できた	食事がおい しくなった
1、20~24才	5(31.3)	3(18.8)	1(6.3)	12(75.0)	4(25.0)	1(6.3)	0	6(37.5)	0
2、25~29才	22(15.2)	25(17.2)	9(6.2)	106(73.1)	37(25.5)	25(17.2)	9(6.2)	95(65.5)	5(3.4)
3、30~34才	57(19.7)	40(13.8)	15(5.2)	219(75.8)	80(27.7)	32(11.1)	11(3.8)	204(70.6)	13(4.5)
4、35~39才	90(18.7)	62(12.9)	17(3.5)	331(68.7)	116(24.1)	58(12.0)	11(2.3)	314(65.1)	18(3.7)
5、40~44才	108(21.6)	86(17.2)	15(3.0)	346(69.1)	140(27.9)	85(17.0)	16(3.2)	378(75.4)	23(4.6)
6、45~49才	72(24.5)	52(17.7)	20(6.8)	204(69.4)	77(26.2)	55(18.7)	17(3.2)	211(71.8)	10(3.4)
7、50~54才	36(28.6)	32(10.9)	14(11.1)	83(65.9)	32(25.4)	29(23.0)	14(11.1)	90(71.4)	8(6.3)
8、55~59才	30(55.6)	15(27.8)	7(13.0)	38(70.4)	19(35.2)	16(29.6)	3(5.6)	44(81.5)	1(1.9)
9、60~64才	19(45.2)	11(26.2)	3(7.1)	21(50.0)	9(21.4)	6(14.3)	10(23.8)	15(35.7)	4(9.5)
10、65才以上	10(90.9)	3(27.3)	0	2(18.2)	2(18.2)	0	0	6(54.5)	0
計	455(23.2)	329(16.8)	101(5.2)	1362(69.5)	516(26.3)	307(15.7)	91(4.6)	1363(69.5)	82(4.2)

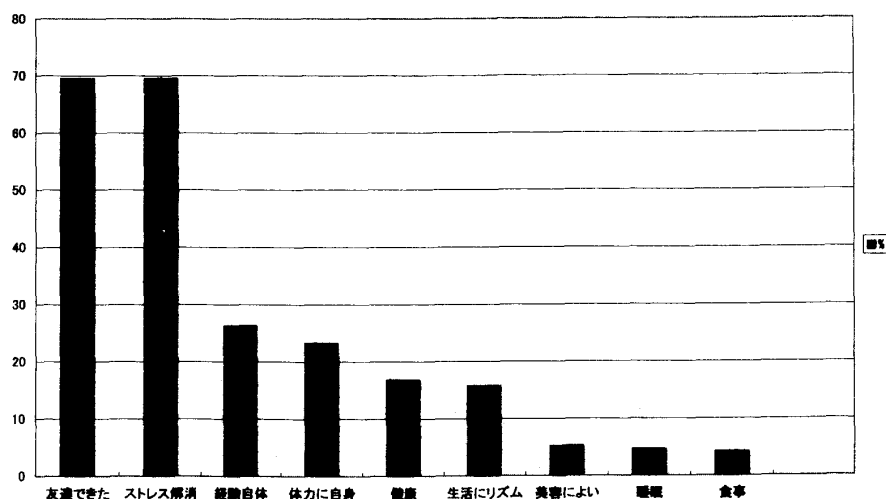


図5 ママさんバレー活動の効果

一番多いのは、「友達ができた。」「ストレスの解消によい。」で約70パーセントである。次いで、「[バレーボールの経験] そのこと自体が有意義である。」「体力に自信がいった。」で約25パーセントある。「体力に自信がいった。」は、55才以上に顕著である。また自由記述の中に「試合でいろいろな所に行ける。」「夫が協力的になった。」「子供がスポーツ好きになった。」などがあった。

「ママさんバレーを始めた理由」と照らしあわせてみると、「ストレスの解消」, 「バレーボールを楽しむ」, 「健康維持」と大体一致していて、始めた理由(目的)が達成されているといえるようである。また、「友達ができた。」ということは、ママさんバレーが長く続いている原因と思える。

◎ ママさんバレー活動による逆効果 (表10, 11, 図6, 7参照)

表10 ママさんバレー活動による逆効果

	なし	ある
1、20~24才	11(68.8)	5(31.3)
2、25~29才	111(76.6)	34(23.4)
3、30~34才	206(71.3)	83(28.7)
4、35~39才	350(72.6)	132(27.4)
5、40~44才	358(71.7)	143(28.5)
6、45~49才	221(75.2)	73(24.8)
7、50~54才	98(77.8)	28(22.2)
8、55~59才	4(74.1)	8(14.8)
9、60~64才	41(97.6)	1(2.4)
10、65才以上	9(81.8)	2(18.2)
計	1451(74.0)	509(26.0)

表11 逆効果の内容

事項 年齢	傷害に 関して	病気に 関して	過労に 関して	メンバー との人間関係	監督・コーチ との人間関係	日常の交際 に関して	子供との 関係について	夫婦間の 事について	仕事の ことに関して
1、20~24才	1(6.3)	0	1(6.3)	1(6.3)	0	0	0	1(6.3)	0
2、25~29才	8(5.5)	0	1(0.7)	2(1.4)	1(0.7)	0	15(10.3)	8(5.5)	3(2.1)
3、30~34才	13(4.5)	1(0.3)	8(2.8)	17(5.9)	1(0.7)	3(1.0)	20(7.0)	11(3.8)	8(2.8)
4、35~39才	30(6.2)	9(1.9)	12(2.5)	34(7.1)	2(0.4)	2(0.4)	37(7.7)	22(4.6)	14(2.9)
5、40~44才	27(5.4)	8(1.6)	21(4.2)	37(7.4)	5(1.0)	11(2.2)	19(3.8)	22(4.4)	14(2.8)
6、45~49才	16(5.4)	2(0.7)	8(2.7)	29(9.9)	1(0.3)	1(0.3)	1(0.3)	7(2.4)	5(1.7)
7、50~54才	5(4.0)	2(1.6)	4(3.2)	13(10.3)	1(0.8)	4(3.2)	1(0.8)	2(1.6)	4(3.2)
8、55~59才	7(13.0)	3(5.6)	1(1.9)	8(14.8)	0	0	0	1(1.9)	2(3.7)
9、60~64才	6(14.3)	0	0	6(13.3)	1(2.4)	0	0	0	0
10、65才以上	1(9.1)	0	0	1(9.1)	1(9.1)	0	0	0	0
計	114(5.8)	25(1.3)	56(2.9)	56(2.9)	13(0.7)	21(1.1)	93(4.7)	74(3.8)	50(2.6)

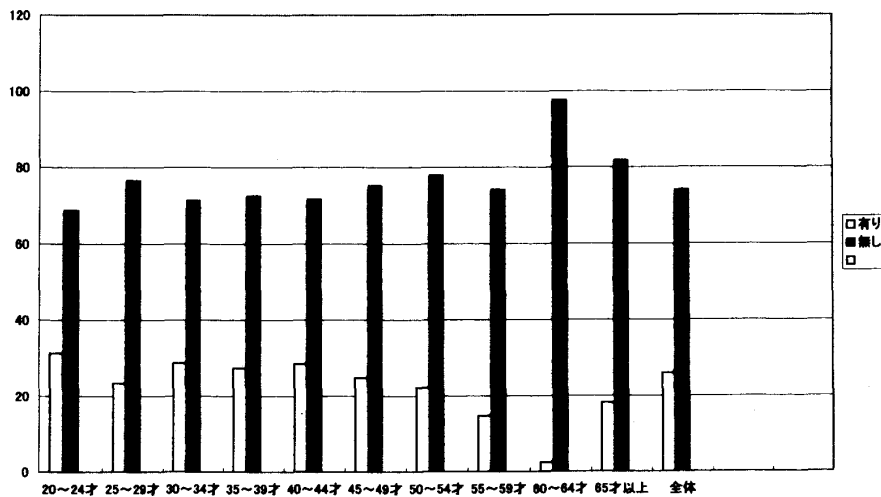


図6 ママさんバレー活動による逆効果

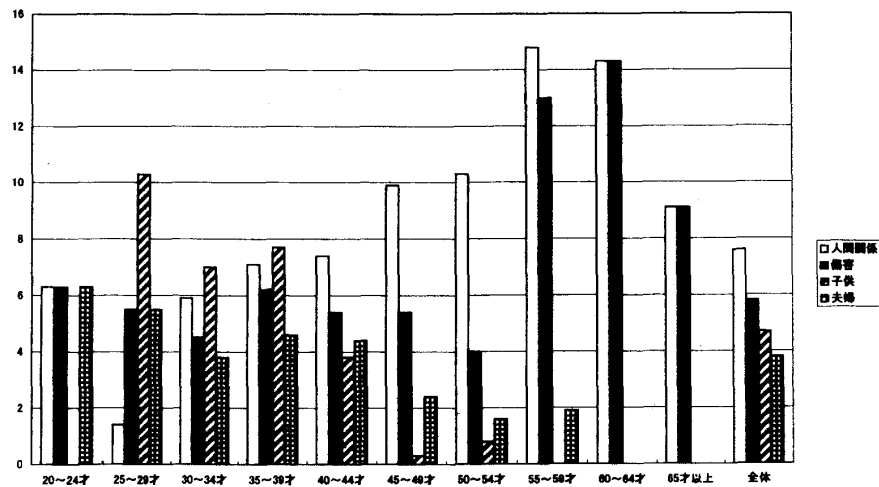


図7 逆効果の内容

「ある。」と答えたのは、全体で26パーセントで20才から54才まで同じようある。逆効果の内容については、一番多いのは、「メンバーとの人間関係に関して」であり、次いで「傷害に関して」であり、「子供との関係に関して」、「夫婦間の事について」が続いている。「メンバーとの人間関係に関して」は、チームの纏め役としての苦勞のせい、45才から多くなっているようである。「傷害に関して」は、55才で多くなっているようである。

「子供との関係に関して」、「夫婦間の事について」は、全体では、4パーセントであるが、子育ての時代と思われる24才から45才までは、約10パーセントを示している。年齢別に分けて考察する必要性を感じた。また自由記述の中に「他の行事と重なる」、「姑との関係」、「強いチームなので休めない」などがあつた。

宮田等の結果は、「子供との関係に関して」、「夫婦間の事について」、「メンバーとの人間関係に関して」、「過勞に関して」、「仕事の事に関して」等が、今回より多く出ている。長い年月の間に努力して解消してきたと思われる。「傷害に関して」は、同じようである。

◎ 活動中における傷害 (表12, 13, 図8, 9参照)

表12 活動中における障害等の有無

	なし	あり
1、20~24才	15(93.8)	1(6.3)
2、25~29才	113(77.9)	32(22.1)
3、30~34才	199(68.9)	90(31.1)
4、35~39才	274(56.8)	208(43.2)
5、40~44才	265(52.9)	236(47.1)
6、45~49才	161(54.8)	133(45.2)
7、50~54才	66(52.4)	60(47.6)
8、55~59才	25(46.3)	29(53.7)
9、60~64才	29(69.0)	13(31.0)
10、65才以上	7(63.6)	4(36.4)
計	1154(58.9)	806(41.1)

表13 障害の内訳

	捻挫	突き指	靭帯損傷	骨折	肉離れ
1、20~24才	1(6.3)	0	0	0	0
2、25~29才	17(11.7)	3(2.1)	4(2.8)	2(13.8)	4(2.8)
3、30~34才	34(11.8)	11(3.8)	15(5.2)	12(41.5)	2(0.7)
4、35~39才	78(16.2)	23(4.8)	19(3.9)	13(27.0)	10(2.1)
5、40~44才	100(20.0)	18(3.6)	27(5.4)	18(3.6)	19(3.8)
6、45~49才	60(20.4)	17(5.8)	14(4.8)	19(6.5)	8(2.7)
7、50~54才	35(27.8)	9(7.1)	5(4.0)	3(2.4)	3(2.4)
8、55~59才	8(14.8)	8(14.8)	0	3(5.6)	2(3.7)
9、60~64才	3(7.1)	3(7.1)	0	0	2(4.8)
10、65才以上	2(18.2)	1(9.1)	0	1(9.1)	0
計	338(17.2)	93(4.7)	84(4.3)	71(3.6)	50(2.6)

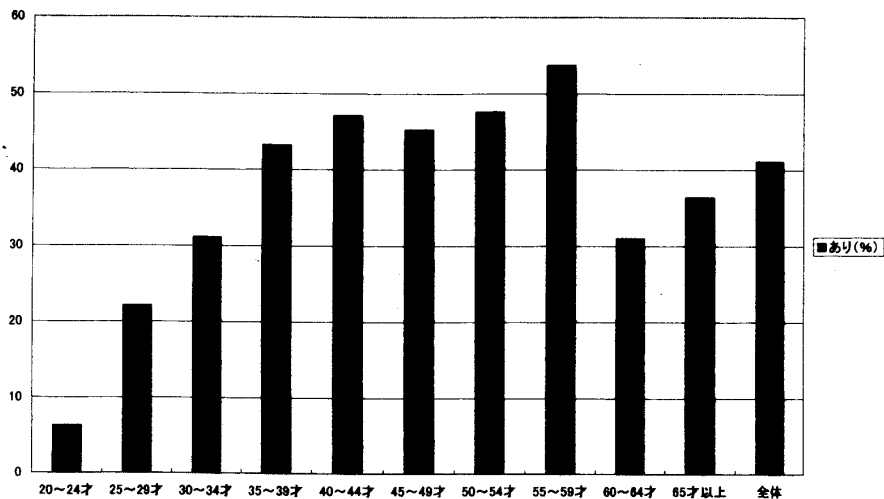


図8 活動中における傷害等の有無

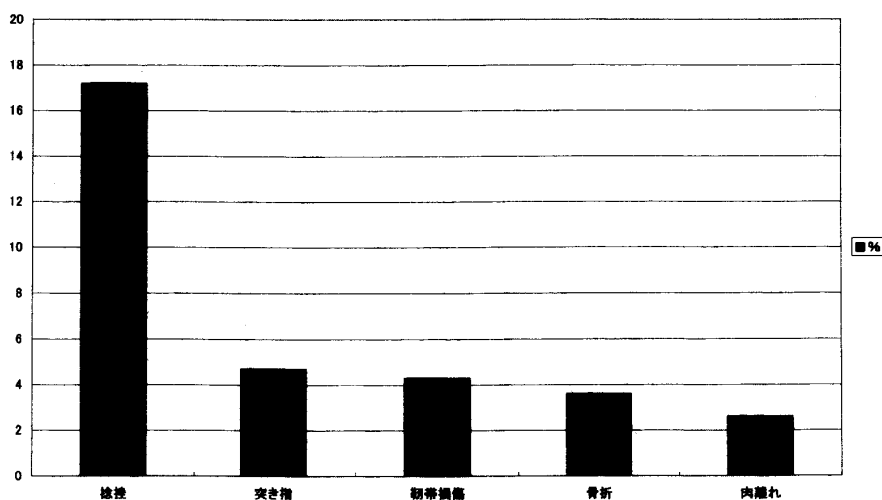


図9 傷害の内訳

「ある。」と答えたのは、40パーセント強である。特に35才から、60才に多いようである。傷害の内訳であるが、突出しているのが「捻挫」である。特に40才から54才に多いようである。次いで「突き指」、「靭帯損傷」、「骨折」、「肉離れ」、「膝の損傷」、「アキレス腱断烈」、「肩の故障」、「腰痛」、「半月板損傷」、「脱臼」などが挙げられている。「捻挫」、「突き指」は、バレーボールスポーツ少年団の調査でも指摘されていて、バレーボール特有の傷害のようである。準備運動に、ストレッチを十分行うことや、決して無理をしないことなどを考える必要があるようである。

◎ チームに対する期待 (表14, 図10参照)

表14 チームに対する期待

項目 年齢	対外試合 多くやりたい	対外試合 多く勝ちたい	試合よりも 楽しく	人間的 つながり
1、20~24才	1(6.3)	8(50.0)	2(12.5)	3(18.8)
2、25~29才	17(11.7)	60(41.4)	36(24.8)	29(20.0)
3、30~34才	38(13.1)	108(37.4)	89(30.8)	40(13.8)
4、35~39才	45(9.3)	172(35.7)	137(28.4)	90(18.7)
5、40~44才	44(8.8)	168(33.5)	149(29.7)	111(22.2)
6、45~49才	31(10.5)	87(29.6)	98(33.3)	63(21.4)
7、50~54才	10(7.9)	29(23.0)	43(34.1)	36(28.4)
8、55~59才	6(11.1)	11(20.4)	20(37.0)	15(27.8)
9、60~64才	3(7.1)	8(19.0)	20(47.6)	9(21.4)
10、65才以上	1(9.1)	1(9.7)	6(54.5)	3(27.3)
計	196(10.0)	652(33.3)	600(30.6)	399(20.4)

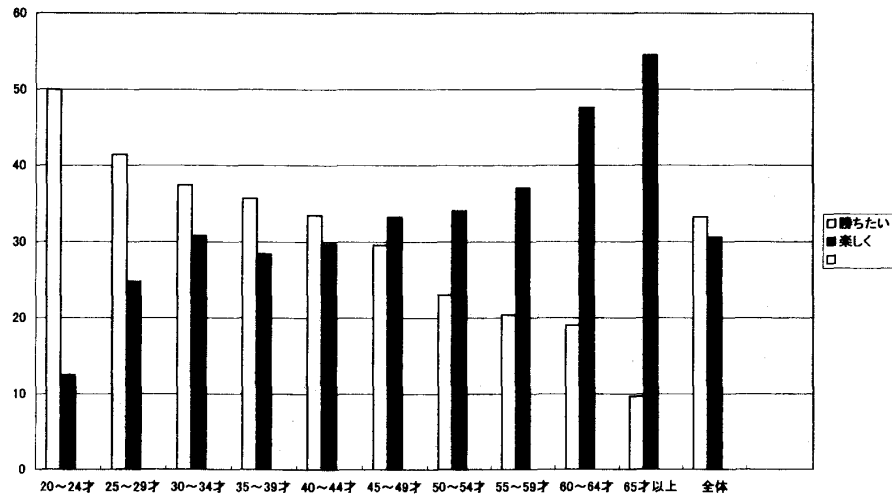


図10 チームに対する期待

一番多いのは、「対外試合を多くやりたいし、また勝ちたい。」で、33パーセントであり、次いで「試合に出るよりもとにかく楽しくやりたい。」で31パーセントである。

「対外試合を多くやりたいし、また勝ちたい。」は、20才から34才までに多く、「試合に出るよりもとにかく楽しくやりたい。」は、55才以上に多くなっている。チームに対する期待には、年齢による差がはっきり見られるようである。今後チームを運営して行くうえの問題点になるのではないかと思われる。「対外試合を多くやりたい。」は10パーセントで、「バレーボールを通じて人間的つながりをもちたい。」は20パーセントを示し、年齢差はないようである。

宮田等の結果は、「バレーボールを通じて人間的つながりをもちたい。」、「試合に出るよりもとにかく楽しくやりたい。」が多く、「対外試合を多くやりたいし、また勝ちたい。」、「対外試合を多くやりたい。」は少ない。試合指向の傾向が強くなってきているようである。

◎ 主人や家族の理解度 (表15, 図11参照)

表15 チームに対する期待

事項 年齢	十分理解 してくれる	まあまあ理解 してくれる	時々不満を もらす	どちらかと いうと不満
1、20~24才	10(62.5)	3(18.8)	2(12.5)	0
2、25~29才	88(60.7)	47(32.4)	6(4.1)	3(2.1)
3、30~34才	145(50.2)	109(37.7)	19(6.6)	4(1.4)
4、35~39才	237(49.2)	186(38.6)	44(9.1)	7(1.5)
5、40~44才	238(47.5)	206(41.1)	38(7.6)	10(2.0)
6、45~49才	199(67.7)	73(24.8)	15(5.1)	5(1.7)
7、50~54才	71(56.3)	43(34.1)	5(4.0)	1(0.8)
8、55~59才	37(68.5)	14(25.9)	0	0
9、60~64才	33(78.6)	6(14.3)	0	0
10、65才以上	10(90.9)	0	0	0
計	1068(54.5)	687(35.1)	130(6.6)	30(1.5)

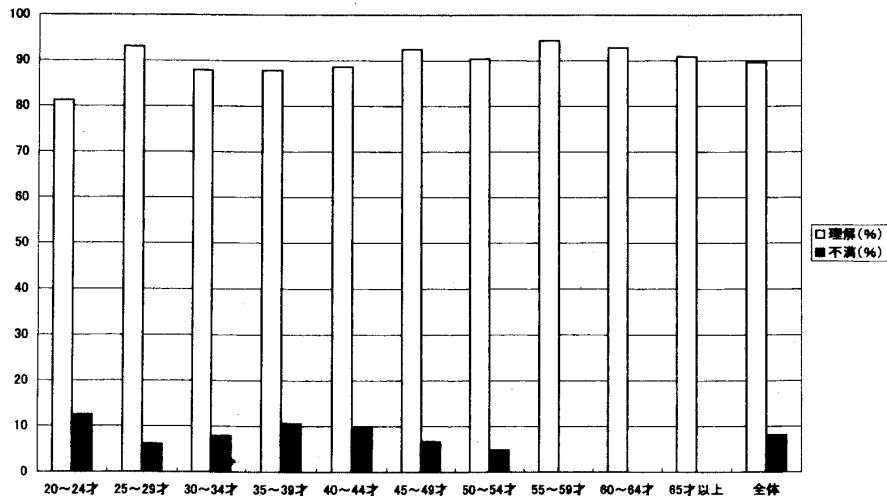


図11 主人や家族の理解度

「十分理解してくれる。」「まあまあ理解してくれる。」で90パーセントを示している。「時々不満をもらす。」「どちらかという不満である。」は8パーセントである。しかし、20才から49才までは、10パーセント前後を示している。家庭との板挟みで、悩んでいることが窺われるようである。

◎ チームのメンバーと監督（コーチ）との関係 （表16参照）

表16 監督（コーチ）との関係について

事項 年齢	非常にうまく いっている	まあまあうまく いっている	あまりうまく いってない	わから ない
1、20~24才	10(62.5)	5(31.3)	0	0
2、25~29才	59(40.7)	69(47.6)	1(0.7)	14(9.7)
3、30~34才	90(31.1)	159(55.0)	6(2.1)	30(10.4)
4、35~39才	157(32.6)	260(53.9)	8(1.7)	45(9.3)
5、40~44才	156(31.1)	280(55.9)	13(2.6)	32(6.4)
6、45~49才	95(32.3)	164(55.8)	5(1.7)	20(6.8)
7、50~54才	45(35.7)	65(51.6)	6(4.8)	11(8.7)
8、55~59才	17(25.9)	32(59.3)	1(1.9)	0
9、60~64才	22(52.4)	14(33.3)	0	0
10、65才以上	7(63.6)	3(27.3)	0	0
計	658(33.6)	1051(53.6)	40(2.0)	152(7.8)

「非常にうまくいっている。」「まあまあうまくいっている。」が90パーセントで、「あまりうまくいっていない。」は、2パーセントである。チームのメンバーと監督（コーチ）との関係は、うまくいっているものと思われる。

◎ チームの人間関係 (心のつながり) (表17参照)

表17 チームの人間関係 (心のつながり) について

事項 年齢	非常にうまく いっている	まあまあうまく いっている	あまりうまく いっていない	わから ない
1、20~24才	8(50.0)	7(43.8)	0	1(6.3)
2、25~29才	52(35.9)	82(56.6)	1(0.7)	8(5.5)
3、30~34才	69(23.9)	184(63.7)	8(2.8)	26(9.0)
4、35~39才	103(21.4)	319(66.2)	7(1.5)	32(6.6)
5、40~44才	145(28.9)	315(62.9)	13(2.6)	20(4.0)
6、45~49才	79(26.9)	191(65.0)	2(0.7)	13(4.4)
7、50~54才	33(26.2)	78(61.9)	2(1.6)	8(6.3)
8、55~59才	18(33.3)	33(61.0)	1(1.9)	0
9、60~64才	20(47.6)	17(40.5)	0	1(2.4)
10、65才以上	6(59.5)	5(45.5)	0	0
計	533(27.2)	1231(62.8)	34(1.7)	109(5.6)

チームのメンバーと監督 (コーチ) との関係と同じく、「非常にうまくいっている。」「まあまあうまくいっている。」が90パーセントで、「あまりうまくいっていない。」は2パーセント弱である。チームの人間関係 (心のつながり) はうまくいっているようである。しかし、25才から54才までに、チームのメンバーと監督 (コーチ) との関係、チームの人間関係 (心のつながり) 両方に「あまりうまくいっていない。」「わからない。」が、10パーセント近く見られることは、気掛かりである。

◎ 対外試合について (表18, 図12参照)

表18 対外試合について

事項 年齢	是非 やりたい	できたら やりたい	どちらでも よい	やりたく ない
1、20~24才	3(18.8)	7(43.7)	0	0
2、25~29才	58(40.0)	65(44.8)	17(11.7)	1(1.4)
3、30~34才	94(32.5)	153(52.9)	35(12.1)	3(1.0)
4、35~39才	110(22.8)	285(59.1)	79(16.4)	1(0.2)
5、40~44才	118(23.6)	297(59.3)	65(13.0)	2(0.4)
6、45~49才	64(21.8)	175(59.5)	45(15.3)	0
7、50~54才	24(19.0)	78(61.9)	14(11.1)	0
8、55~59才	14(26.0)	34(62.0)	3(5.6)	0
9、60~64才	11(26.1)	24(57.1)	3(7.1)	0
10、65才以上	4(36.4)	4(36.4)	2(18.2)	0
計	500(25.5)	1122(57.2)	263(13.4)	7(0.4)

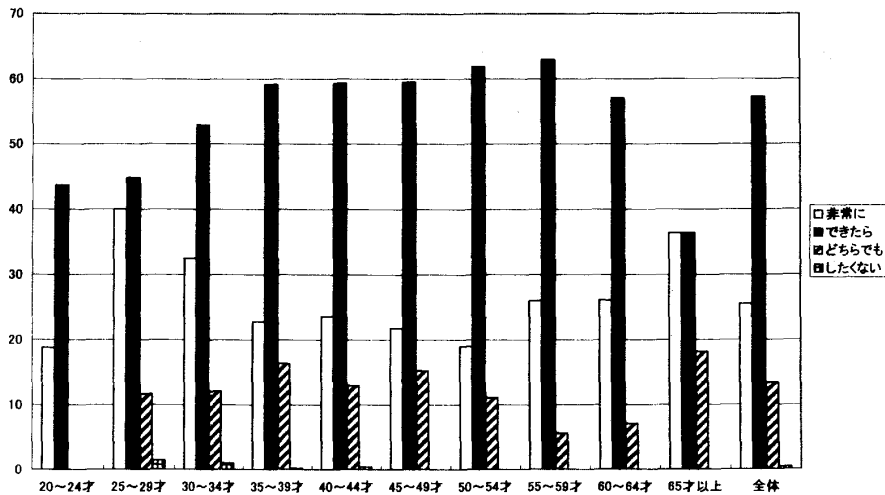


図12 対外試合の希望

一番多いのは、「できたらやりたい。」で57.2パーセントで、次いで「是非やりたい。」「どちらでもよい。」であり、「やりたくない。」は0.4パーセントである。試合を希望しているのは約80パーセントである。

◎ 全国大会への出場について (表19, 図13参照)

表19 全国大会への出場について

事項 年齢	是非 出てみたい	できたら 出てみたい	別に出なく てもよい	すでに出場 している
1、20~24才	7(43.8)	9(56.2)	0	0
2、25~29才	53(36.6)	67(46.2)	21(14.5)	2(1.4)
3、30~34才	75(26.0)	144(49.8)	62(21.5)	5(1.7)
4、35~39才	92(19.1)	244(50.6)	120(24.9)	9(1.9)
5、40~44才	105(21.0)	222(44.3)	131(26.1)	25(5.0)
6、45~49才	67(22.8)	133(45.2)	81(27.6)	5(1.7)
7、50~54才	22(17.5)	53(42.1)	32(25.4)	14(11.1)
8、55~59才	12(22.2)	22(40.7)	11(20.4)	7(13.0)
9、60~64才	3(7.1)	16(38.1)	7(16.7)	12(28.6)
10、65才以上	2(18.2)	4(36.4)	1(9.1)	4(36.4)
計	438(22.3)	914(46.6)	466(23.8)	63(3.2)

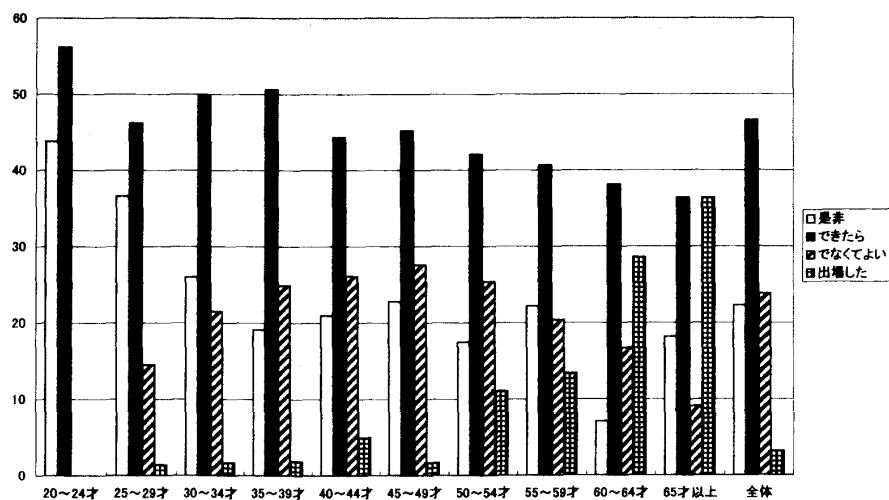


図13 全国大会への出場希望

一番多いのは、「できれば出てみたい。」で46.6パーセントで、次いで「別に出なくても良い。」「是非でてみたい。」である。「是非でてみたい。」は、20才台に多く、「すでに出場している。」は、50才から多くなっている。

◎ チーム活動への満足度 (表20, 図14参照)

表20 チーム活動への満足度

事項 年齢	非常に充実 満足	ある程度充実 満足	あまり充実 なし不満足
1、20~24才	5(31.3)	9(56.3)	1(6.3)
2、25~29才	45(31.0)	87(60.0)	11(7.6)
3、30~34才	76(26.3)	195(67.5)	20(6.9)
4、35~39才	74(15.4)	365(75.7)	29(6.0)
5、40~44才	88(17.6)	358(71.5)	43(8.6)
6、45~49才	41(13.9)	222(75.5)	20(6.8)
7、50~54才	23(18.3)	87(69.0)	12(9.5)
8、55~59才	11(20.3)	43(79.6)	2(3.7)
9、60~64才	15(35.7)	21(50.0)	3(7.1)
10、65才以上	5(45.4)	6(54.5)	0
計	383(19.5)	1393(71.1)	141(7.2)

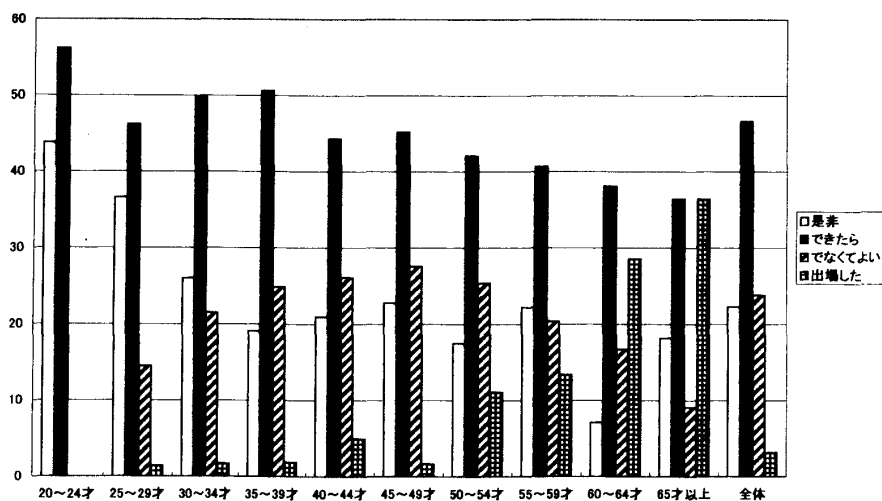


図14 チーム活動への満足度

「非常に充実して満足している。」と「ある程度充実して満足している。」で、90.6パーセントであり、満足していると思える。しかし、「あまり充実しておらず不満足である。」が、64才まで全てにあるということは、今後のチーム運営を良くするために意見の交換等が必要とされるようである。

◎ 日頃の練習への出席率 (表21参照)

表21 日頃の練習への出席率

事項 年齢	ほとんど 出席する	時々 欠席する	欠席も 多い
1、20~24才	12(75.0)	4(25.0)	0
2、25~29才	71(49.0)	55(37.9)	19(13.1)
3、30~34才	177(61.2)	71(24.6)	36(12.5)
4、35~39才	311(64.5)	120(24.9)	44(9.1)
5、40~44才	318(63.5)	129(25.7)	44(8.8)
6、45~49才	202(68.7)	54(18.4)	33(11.2)
7、50~54才	83(65.9)	28(22.2)	12(9.5)
8、55~59才	34(62.3)	18(33.3)	2(3.7)
9、60~64才	9(83.3)	1(23.8)	2(4.8)
10、65才以上	10(90.0)	0	0
計	1253(63.9)	480(24.5)	192(9.8)

一番多いのは、「ほとんど出席する。(8割以上の出席)」, 次いで「時々欠席する。(6割以上～8割未満の出席)」である。「欠席も多い。(6割未満の出席)」は、9.8パーセントである。アンケートに答えていただいた方々なので出席率のよいのは当然であろう。

◎ 活動の継続意志 (表22参照)

表22 活動の継続意志

項目 年齢	続けようと思 う	続けようと思 わない	続けるか わからない
1、20~24才	12(75.0)	0	2(12.5)
2、25~29才	117(80.7)	0	13(9.0)
3、30~34才	230(79.6)	0	35(12.1)
4、35~39才	412(85.5)	5(1.0)	60(12.4)
5、40~44才	406(81.0)	1(0.2)	81(16.2)
6、45~49才	242(82.3)	3(1.0)	43(14.6)
7、50~54才	100(79.4)	1(0.8)	19(15.1)
8、55~59才	45(83.3)	2(3.7)	6(11.1)
9、60~64才	31(73.8)	1(2.4)	4(9.5)
10、65才以上	9(81.8)	0	1(9.1)
計	1604(81.8)	13(0.7)	264(13.5)

ママさんバレーを続けたいと「思う。」が、約82パーセントである、年齢差は内容である。「思わない。」「分からない。」は、約20パーセントである。「思わない。」が35才から64才に出ている。

◎ 他のスポーツ活動への希望 (表23, 図15参照)

表23 他のスポーツ活動への希望

項目 年齢	望む	望まない	今のところ 考えていない
1、20~24才	6(37.5)	0	9(56.3)
2、25~29才	46(31.7)	14(9.7)	83(57.2)
3、30~34才	109(37.7)	25(8.7)	149(51.6)
4、35~39才	188(39.0)	25(5.2)	256(53.1)
5、40~44才	294(40.7)	32(6.4)	249(49.7)
6、45~49才	124(42.2)	18(6.1)	142(48.3)
7、50~54才	53(42.1)	13(10.3)	52(41.3)
8、55~59才	31(57.4)	2(3.7)	20(37.0)
9、60~64才	27(64.3)	2(4.8)	10(23.8)
10、65才以上	4(36.4)	1(9.1)	6(54.5)
計	792(40.4)	132(6.7)	976(49.8)

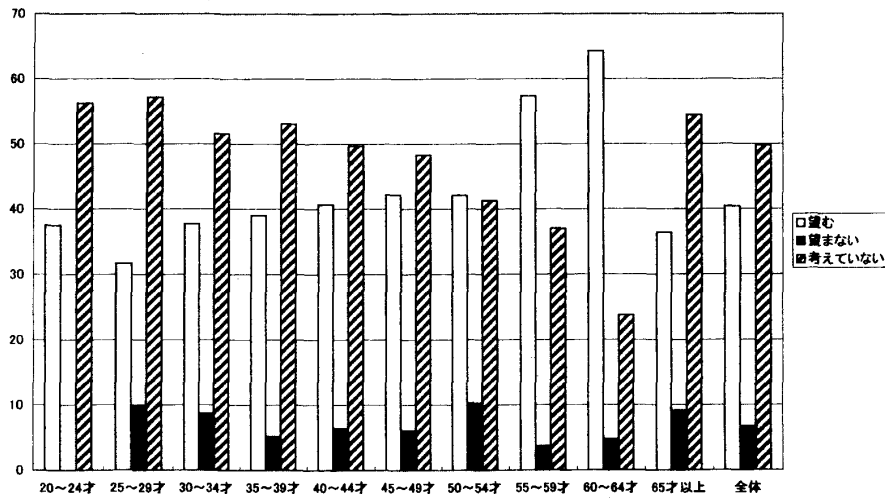


図15 他のスポーツ活動への希望

一番多いのは、「今のところ考えていない。」で、約50パーセント、次いで「望む。」で約40パーセントである。「望まない。」は約7パーセントである。「望む。」が55才以上に特に多くなっているが、各年齢30パーセントを示している。バレーボールだけでなく、バドミントンなど他のスポーツ活動を取り入れることを、考えていい時期にきているのではと思われる。

宮田等の結果でも、「望む。」は35.6パーセントを示している。

今後の課題

家庭婦人のスポーツで、一番参加者の多いママさんバレーボールも創始以来約30年を過ぎようとしているが、この間、多大な効果をあげているが、今後ますます発展するためにも幾つかの課題も出てきているようである。

まず、年齢の幅が広がり、チームに対する期待、対外試合への希望等に違いが出ているようである。チームをより良く運営して行くためには、話し合いなどが必要と思われる。

現在、50才以上の「いそじ」大会、60才以上の「ことぶき」大会など年齢に合わせたルールで行う大会も開催されてきている。同じチームでこのようなチームが構成できるチームは、年齢を分けて大会に出場することも可能であろう。しかし、チームの人員が少なく、チーム構成が年齢差が大きくなるチームは、体力とともに、考えの違いも問題になるであろう。また、家族との関係の年齢差も考える必要もあろう。

次に傷害の予防である。バレーボールの練習の時以外の時でも、体力を高める事など考えることも大事なことである。また、最近テーピング以外に足関節装具による予防法が用いられているので、足関節装具などの利用も大事なことである。

また、スポーツ少年団みたいに複合スポーツクラブを目指すのではないが、試合の日程が近くない時など、バレーボールだけでなく、他のスポーツなどを組み入れるよう努力することも要求されるであろう。

注) 本研究は、鹿児島学の研究グループ「鹿児島の生涯体育・スポーツ」班で行ったもので、一部をリーフレット「鹿児島学のプロフィール」に発表した。

参考引用文献

1. 日本体育協会, 1972, 昭和47年度日本体育協会スポーツ科学研究報告 No II 社会体育の動機に関する調査第1報 -アンケート調査-
2. 宮田和信, 脇 伸之祐, 1975, 家庭婦人バレーボールに関する研究-第1報- 第26回日本体育学会 発表資料
3. 日本体育協会, 1988, 鹿児島県における少年団の活動実態調査と活動プログラムに関する研究 第1報 昭和62年度日本体育協会スポーツ医科学研究報告 第1報
4. 松井 達也, 2000, 子どものスポーツ障害を防ぐ・治す 講談社
5. 林 光俊, 2001, 第16号 バレーボールによるスポーツ障害とリハビリテーション Coaching & Playing Volleyball (有) バレーボール・アンリミテッド